

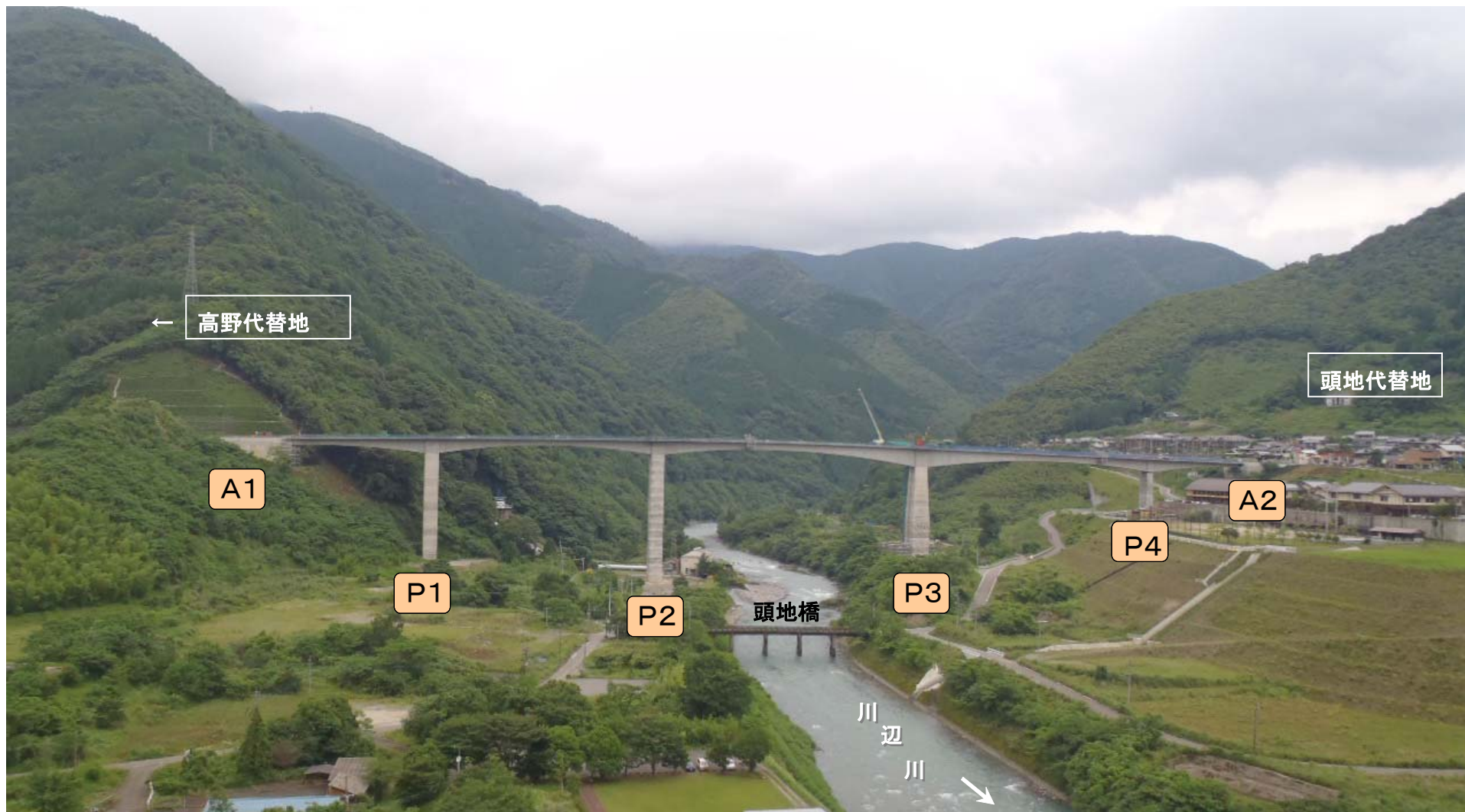
国で実施している生活再建対策

- ①頭地大橋を含む県道宮原五木線（県と合併施工）
- ②元井谷水源の整備
- ③代替農地の整備
- ④スクールバス車庫、消防署の移転補償



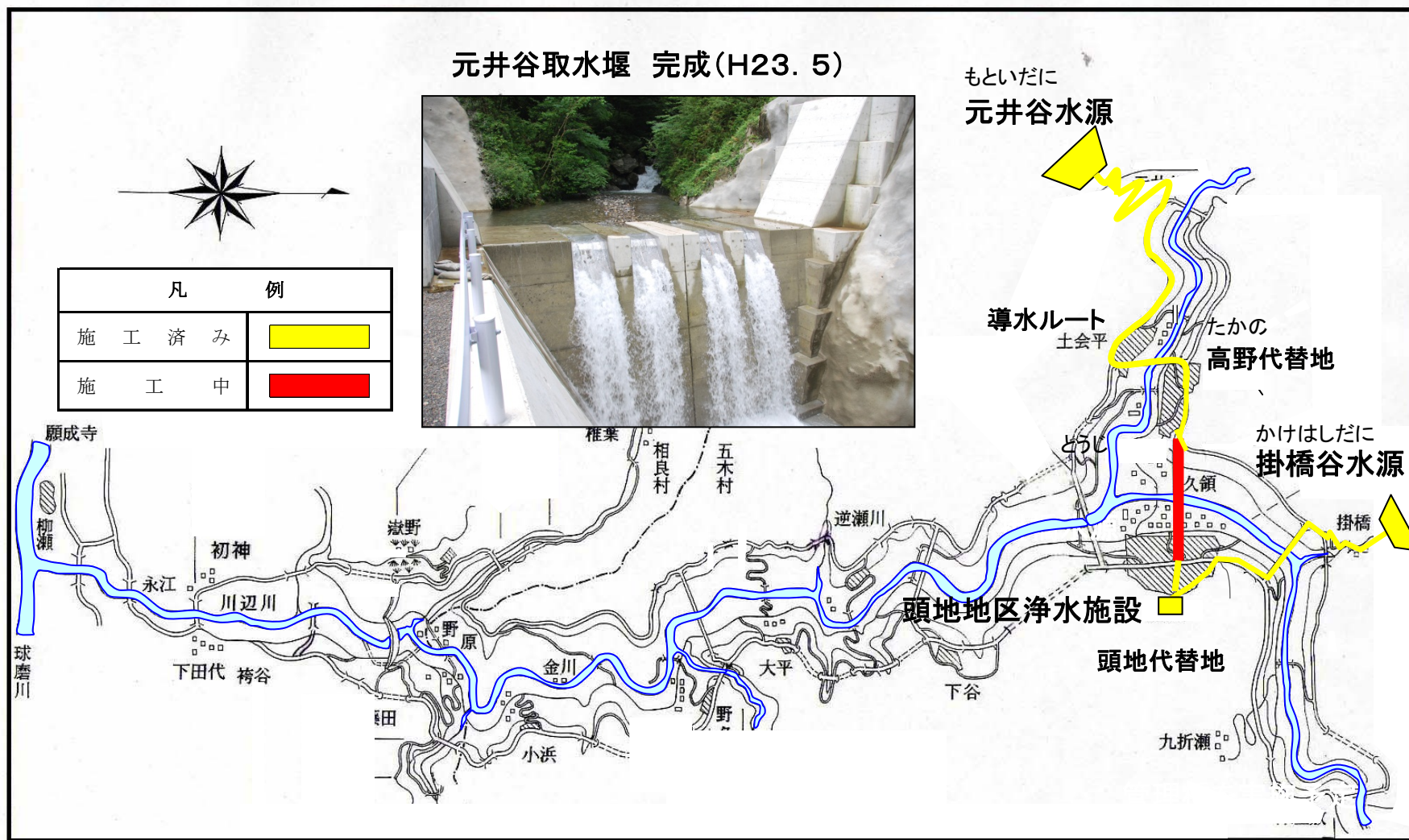
頭地大橋を含む県道宮原五木線（県と合併施工）

6月9日にコンクリートの最終打設完了しました。今後、平成24年度末の完成を目指し、舗装などの工事を実施する予定です。



頭地代替地や高野代替地への水源となる元井谷水源

元井谷水源の取水設備は平成23年5月に完成し、導水管も高野地区まで埋設済みです。頭地地区まで通水できるように、頭地大橋の完成に合わせて導水管の架設工事を実施する予定です。



取水施設の被災対応

7月12日の出水により損傷した水道の取水施設は早期に復旧を行います。



掛橋取水堰の被災状況



元井谷取水堰の被災状況

坊主山の掘削

8月から掘削工事に向けた準備を行っているところであり、頭地大橋の完成までに終了させる予定です。



池ノ鶴地区（旧中学校・高校跡地）

水没予定地の利活用の検討のため、試行的に仮置土の整地を行っているところです。

整地前



池ノ鶴地区（旧中学校・高校跡地）

水没予定地の利活用の検討のため、試行的に仮置土の整地を行っているところです。

整地後



池ノ鶴地区（旧中学校・高校跡地）の利活用状況

（8月1日「上下流こども交流会」）（8月20日「子供のびのび教室」）
五木村や相良村の小学生の体験学習の場として試行的に活用されました。



川遊び後に暖をとる子供達



休憩時間に遊ぶ子供達

田口の大銀杏の調査状況

現在、樹木の健全度や土壌の状態について、専門家の意見を聞きつつ、検討しているところです。



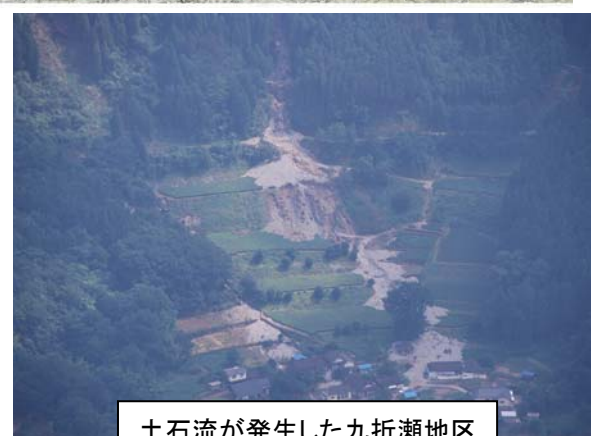
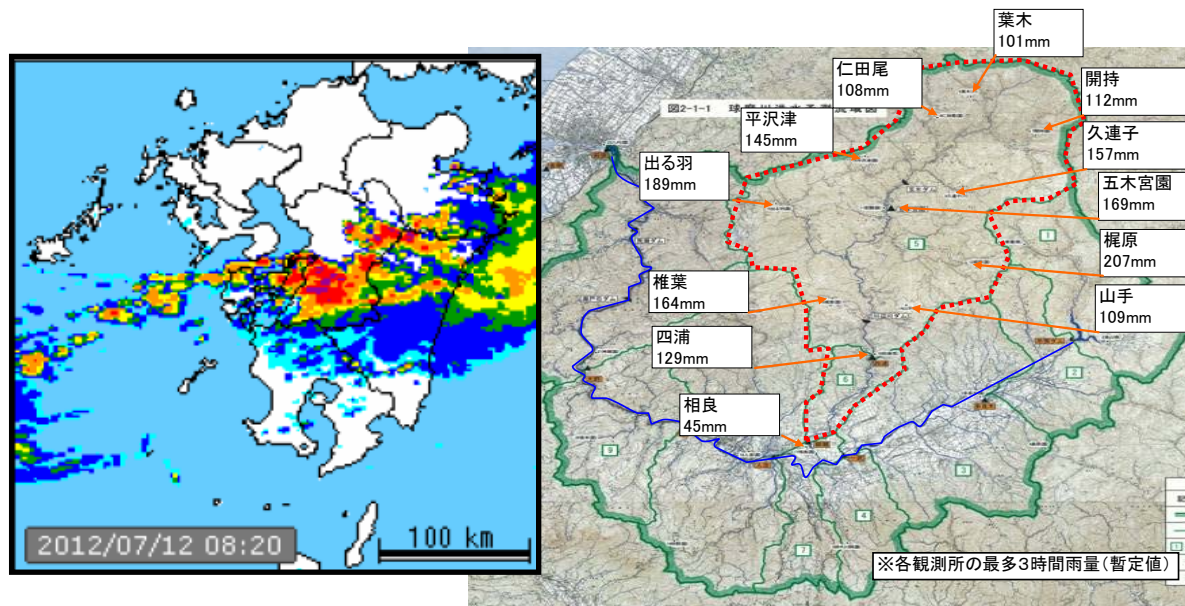
土壌調査の状況



専門家による調査状況

7月12日出水の状況

活発な梅雨前線により、川辺川ダム砂防事務所管内において、短時間に集中的な降雨が発生しました。このため、流域の各所で住宅や道路に被害が発生しました。



7月12日出水による対応状況

12日当日に五木村にリエゾンを派遣するとともに、翌13日からヘリコプター調査を含めた災害状況調査を実施（①、②）。19日には九折瀬地区の災害申請手続きを開始し（③）、23日には田口砂防堰堤の緊急除石工事に着手しました（④）。また、26～29日にかけてTEC-FORCEを派遣（⑤）、27～28日には土研・国総研による高度技術支援を行いました（⑥）。

